

FMS便り

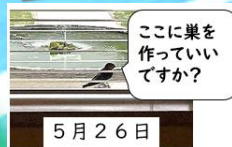
第4号

令和8年7月17日（金）

信州大学教育学部附属松本小学校

自信を力に

1学期終業式(7月17日)
校長講話



附属松本小学校
1学期 終業式



今日で71日間の1学期が終わります。4月から7月まで、いろいろな勉強や行事がありましたが、今、5年生が発表してくれたように、1学期は新しい学年でスタートして4か月、それぞれに力を入れて頑張ってきたことややってみてうまくいったこと、なかなかうまくいかなかったこと、もっとやればよかったと思ったことなど、いろいろなことのあった1学期だったと思います。4月からの4か月を振り返って、できるようになったことは自信をもってこれからもどんどん挑戦し続けてほしいです。

さて、多目的室の向かい側の窓からツバメが巣をつくって子育てしている様子を皆さんも見れていたと思います。最初にわたってきた親ツバメが校長室の窓のところにやってきて「あの一、ここに巣を作っていいですか?」とていねいにご挨拶してくれたのが5月26日でした。「あ、そういうことでしたら、どうぞどうぞ」と言ってあげたらそれからあっという間に親ツバメが巣を作って卵を産み、ひながかえって、巣に入りきれないくらい子どものツバメが大きくなったのが7月9日。次の日にはもう巣には入らずに、子ツバメたちは2階のパイプの所にみんなでとまりながら、上手に飛ぶ練習を何回もやっていました。今週はもうみんなどこかに飛んで行っていなくなっていました。生まれてから1か月くらいで一人前に飛べるようになるなんて、すごいですね。



飛べるようになると言えば、3年生は6月にミニハードル走の授業をやっていました。自分に合った練習の仕方、「蹴る! 1 2 3、蹴る! 1 2 3」と声を出しながら自分のリズムでハードルを跳び越すことができる楽しさやどんどんタイムが速くなっていく気持ちよさをしっかり味わえていたと思います。なんでもできるようになるって楽しいことだし、自信がつきますよね。

できるようになると言えば、5月の運動会では、1か月くらいの短い練習期間にそれぞれの学年で様々な種目を集中して練習して演技などを仕上げ、運動会当日は素晴らしい最高のパフォーマンスを見せてくれました。とてもいいなあと思ったのは、みなさん一人一人が見てくださっている方たちに向けて「自分の演技を見て!」という気持ちが体全体からオーラのように湧き上がっているように見えたところです。見ている方々からも「心を揺さぶられた」と会場全体が一致団結したひと時になったと感じていただけたのだと思います。皆さんには見ている人を引き付けるものすごい力がありますし、そういう自分の持てる力にもっと自信を持ってこれからもいろいろなパフォーマンスをみせてほしいなと思います。その素晴らしい運動会を支えてくれたのは、運動会のそれぞれの児童系の皆さんの活躍も大きかったと感じています。任された仕事に真剣に向き合い、全力で自分の役割を果たす皆さんの姿を見て、駆けつ



けてくれたご来賓の皆さんや保護者の皆さんはこれについてもとても感動した様子でした。運動会の競技はもちろんですが、運動会全体の進行を支える係の仕事にも真剣に取り組む姿には、本物のカッコよさがにじみ出ていたと思います。本当にお疲れさまでした。

カッコいいと言えば、今年度の児童会活動は計画的に様々なことに本気になって取り組んでくれているのがカッコいいなと感じます。忙しい毎日の中で、当番活動を責任をもってきちんとやってくれていますし、委員会ごとと実施している姉妹学級との交流活動も決して手を抜くことなく、高学年の皆さんが自分事として姉妹学級のペアと楽しくかかわってくれています。

学校全体の一体感が、こういった活動の一つ一つからできてくるんだなあ、と改めて思います。2学期以降もいろいろなアイデアを出し合ってハッピー&ファンスクールを作り上げていってください。

一体感と言えば、こういったところからも一体感を感じる1学期でした。皆さん一人一人はそれぞれに違いはありますが、みんな同じ気持ちで毎日を過ごしてくれているなあ、心をそろえる、気持ちをそろえるということのよさをこういう靴の置き方一つとってみても全校の皆さんが感じ取ってくれているのかなあと感じています。とても気持ちがいいですね。昇降口掃除の皆さんのこだわりはこういう掃除道具をそろえて片付けるということにも表れています。これもカッコいいなあと思うところです。これからよろしくお願いします。

1学期はたくさんのお客さんが集まって皆さんの学習している様子を見てもらう日が何度もありました。そのたびに皆さんの近くまでお客さんが来て緊張することもあったと思いますが、その時間のめあてや学習問題の解決に向けて友達と協力して真剣に取り組んでくれていました。自分で考えたことを自分の言葉でどんどんとクラスの人々に向かって話ができる姿を見て、お客さんも驚いているようがありました。また、友達の発言をよーく聞いてうんうんとうなずきながら自分の考えに取り入れてノートにメモしたり、友達の意見とは違う考えを発言したりできる人もいて、これもまたカッコいい姿だなあと感じました。友達の考えをしっかりと聞いて受け止めることのできる人は、本当に友達を大切にできる人だと私は感じています。なので、ぜひこれからも友達の話は耳を澄ましてよく聞いてほしいと思います。もしかしたら、友達の意見の中に自分の人生を変えるような重要な考えが入っているかもしれません。ぜひ聞き逃さないようによーく聞いてほしいと思います。学校に来たお客さんに「こんにちは！」という明るい挨拶ができる人も多くなってきたと感じています。ぜひ積極的に知らないお客さんにも話しかけてみてください。



さて、皆さんは「SDGs」持続可能な開発目標というのを知っていますか？これは、2030年までに、地球上の誰一人取り残さず、みんなが豊かに暮らせる世界をつくるための世界共通の目標として、世界中の国々が協力して取り組んでいます。これにかかわって、7月8日に福岡県の方からお手紙とともに素敵なプレゼントが届きました。これは、7月1日付の読売新聞という全国紙のSDGsに関する記事で、附属松本小のレジリエンストイレにかかわる学習活動が紹介された記事をお読みになって、すばらしい取組で感激した！ということでSDGsの17目標のアイコンがあしらわれた長さ3センチほどのかわいらしい紙の靴をケースに入れて送っていただきました。

また、レジリエンストイレの取組で達成されている3つの目標については追加して紙の靴をケースに入れていただきました。昇降口に飾ってあるので皆さんでまた見てください。皆さんが取り組んでいる様々な活動は、このように全国各地の人たちが見守ってくださっていますので、自信をもってこれからも頑張ってくださいね。

と、いうことで、明日からみなさんが待ちに待った夏休みです！32日間！長い夏休みですね。きっとそれぞれのお家で楽しいことをたくさん計画していることと思います。夏休みにやってほしいこと。「たくさん食べて 病気やけがをせず 元気に過ごしましょう」「お家の人たちとたくさん話をしよう！」おじいちゃん、おばあちゃん、親戚の人にも会う人もいるかと思っています。いろいろな話をしてくださいね。「長い夏休みだからできることにチャレンジしよう！」いつもはやろうと思っていても毎日忙しくてなかなかできなかったことがあれば、ぜひ夏休みを使ってじっくりチャレンジしてみてください。「2学期にやりたいことをどんどん考えよう！」担任の先生からこのあと通知表をいただくと思います。通知表を見ながら、更に自分をパワーアップさせるために、次の2学期はもっとこんなことをやってみたいな！チャレンジしたいな！ということをぜひ夏休み中に考えておいてください。

それではみなさん、思い出に残る楽しい夏休みにしてください。休み明け2学期始業式の8月19日にみんな元気に再会しましょう！